

---

# 天～晴れのち雨～

紫桜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天～晴れのち雨～

### 【Zコード】

N2170C

### 【作者名】

紫桜

【あらすじ】  
わかつてもらえない、でも自分はわかつていいつもりでいた……。

（前書き）

大空の最初の記憶（友達の最初の記憶）の続きです。

僕は拾われてこの家の子になつた時から今まで「」へ幸せな日々を過ごしている。

“ 大空”（ソラ）といつ名前も付けてもらつたし、毎日おこしご飯も貰える、なにひとつ不満は無い、人間の友達“ 紗奈”ちゃんもいるし、外には野良だけどビシソワーズや他の友達も沢山いる。とくに紗奈ちゃんがいつも側にいてくれるだけで幸せだった。心が通じあつて、いるから紗奈ちゃんも僕の事を理解してくれるし、僕も紗奈ちゃんの事を理解していた。

春、紗奈ちゃんは高校生になつた紗奈ちゃんは入学前に何度も僕に新しい制服を見せてくれた。そのたびに紗奈ちゃんはすごく笑顔になる、だから自然と僕も嬉しくなり、笑顔になつた。

紗奈ちゃんは入学して部活にバイトに委員会、すごく忙しくなつて毎日帰りが遅くなつた。僕は毎日心配して紗奈ちゃんの側にいく、そしてすりよつたりしたけど紗奈ちゃんは必ず「疲れてるからまた今度ね」と言って相手してくれなかつた。最初のうちは疲れてるからしようがないつて思つていたけど最後には反応も示してくれなくなつた。

だから僕はためしに1日だけ家出をしてみた、不安だつたけど紗奈ちゃんが探しに来てくれるつて信じてたし、ビシソワーズもいたから怖くなかった。でも……朝になつても迎えにきてはくれなかつた。僕はきっと探したけど違う場所を探していたんだと思うことにした。でもその考えは無理があつた。だつて家の近くで隠れてたんだから……どんなに思い込んでもそれは真実にはならないんだ。

僕は何事も無かつたかのように家に帰つた、お父さんとお母さんは心配してくれていたけど紗奈ちゃんは僕がいなくなつていたことす

ら気が付いてなかつたみたいだつた。

僕は思った、本当は紗奈ちゃんと僕の心は繋がつていたわけじゃないと、理解してると思つていたのは僕だけなんだと……外の沢山の友達はアドバイスもくれる。『氣にする事はない』と『きっと紗奈ちゃんは疲れてるだけなんだよ。』と言つて励ましてくれる

ただ……一人として心から友達と呼べる人（猫）が居ない……人間の友達“紗奈”ちゃんは僕の名付け親で僕を拾つてくれた恩人。そしてなにより初めての友達だと思つていたけど、所詮は猫と人間。僕がどんなに喋りかけても僕の言葉が通じることは無い。紗奈ちゃんが落ち込んでいる時も僕の励ましの言葉は通じない、また僕の気持ちを紗奈ちゃんが理解することも無い。

僕はそれから何にしてもやる氣が出なくなつた。

ご飯も食べる氣がおきなくつて何日も食べてない、毛繕いも大分してないから毛はボサボサになつていて。こうして僕はどんどん衰弱していく、お父さんとお母さんはすぐ心配して病院にも連れていつてくれたけどこれは僕の気持ち次第だからどうしようもないんだ……。

僕が死ぬ3日前、紗奈ちゃんが泣きながら心配してくれるようになつた。僕はとても嬉しかつた、やつと氣付いてくれたから。でも、もう遅いよ紗奈ちゃん、僕はもう死ぬんだから……だけど心配しないで必ず僕は戻つて来るから……。「ごめんね大空……謝るから死なないで」紗奈ちゃんは泣きながら絞り出すような声で謝つた。『ありがとう、紗奈ちゃん泣かないで元気だして』僕は最後の力を振り絞つて鳴いた。

10年後、紗奈ちゃんは立派なお母さんになつたよ。紗奈ちゃんに

そつくりな可愛い女の子を頑張つて育てるよ。

あれから紗奈ちゃんは動物をなんにも飼つてないけど最近紗奈ちゃんの娘が猫を飼いたいってねだってるんだ、僕ももうすぐでそっちに戻れるからそれまで待つてほしいな、そしたら紗奈ちゃんまた飼つてね。

(後書き)

読んで下さってありがとうございました(\*^-^\*)  
感想を頂けたら嬉しいです(笑)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2170c/>

---

天～晴れのち雨～

2010年10月24日02時18分発行